



# か がやく す まいる い いかんじ 通信

## 第4回「自分たちでも実践可能なワークショップを考えるための準備をしよう」



9月は、夏休みを挟んでしばらくぶりの月例会でした。しばらく間が空いたこともあり、齋藤先生からファシリテーションの基本技術などや地域力を高めるためにはどうしたらいいのか？についてなど、前回までの流れのふりかえりがありました。まちづくりのスキルは家庭でも生かせるという仮説を立て、検証していくことがこれからの活動となります。これまで、そしてこれから学んでいくファシリテーションの技術を家庭という場がよりよくなるために役立て、家庭という小さな居心地のよい場ができることで、まち全体の居心地もよくしていこう、というのが最終的なゴールです。

昨年度は、自分たちのまちにあるコミュニティデザインを探して1枚のポスターにまとめたものを冊子としてまとめましたが、今回は、「誰でもできるワークショップ」として、コミュニティデザインやファシリテーションの知識・技術、まちでも家でもできるワークショップの手引きを冊子としてまとめます。特別な訓練を受けなくても、**誰にでもできることを実践してみよう！独自性、やってみてこんなところがよかったなどのコツや体験談もポイント**になるんだよ、というお話がありました。学習発表会ではそれを元に実際にワークショップを実践するという方向性が先生から発表されました。

具体的なワークショップデザインについてのミニ講義では、まずは**コンセプト**（何を目的とするか・学んでもらいたいのか）から考えていき、次に**ターゲット**（どんな人に学んでもらいたいのか）も検討します。この2つが明確になってから、**プロセス**（どのようにワークショップを進めるか）、**ツール**（何を使ってワークショップをするか）という手法に入っていきます。この4つは、プロジェクトをする（今回でいうワークショップ）上で明確にする必要があります。抽象的⇒具体化していくことが大切！

また、「ワークショップデザインの5つのスキル」や「OARR（オール）」というこれが明確でないと進んでいけないというキーワードが示されました。

### ワークショップデザイン5つのスキル

- ①場づくり
- ②グループサイズ
- ③問い
- ④見える化
- ⑤プログラムデザイン

### OARR

- O : outcome
- A : Agenda
- R : Role R : Rule



とはいっても、「自分ごと」「楽しい」という思いが持てないことには始まりません。まずは、かすいの皆さんの持つ、「得意なこと」や「やってみたいこと」の共有から！との先生からの発案で、アイデアだしからスタート。どんなワークショップになるか、楽しみです。

## 第5回「自主学習日」

10月は自主学習日でした。6つの班が区役所で1つの班が区民集会室で集まりました！各班でワークショップをどうするか、のお話で時間ぎりぎりまでお話し合いが和気あいあいと進んでいました。



★裏面には、いろいろ6さんがまとめてくださった第4回の記録が掲載されています★

～「かすい」の活動が教育委員会HPにも掲載されています。是非ご覧ください！→



## 【いろいろ6さんによるまとめ】

第四回。夏休み明け。

徐々にカスイの頭を取り戻しながら、ワークショップデザインについて学び、自分たちでも実践可能な「ワークショップ」を考えるための準備をする ということ各班で話し合いをしました。

今年度のテーマ「コミュニティデザイン+ファシリテーション」に基づいてワークショップをする…何が出来るのか思いつきません。

いろいろ6では、can、like、want to、must に沿って、話し合いを進めました。

「私は〇〇が好きで〇〇が出来ます！〇〇のワークショップがしたいです！」と、いきなり出すのはなかなか難しい。単語でもいいからそれぞれの can、like、want to、must を出してみようということになりました。作業を進めていくうちに、今まで自分が思い込んでいた(参加してきた)ワークショップにとらわれない捉え方で、自分たちが実践できるワークショップもあるかも?! というものが、じわじわ広がっていくのが感じられました。第三回目はコミュニティデザインについて学びました。どの班も、模造紙いっぱいになるほど、様々な案ができました。最後は、班を越えて沢山の意見交換ができました。



### 【第4回 みなさんからいただいた感想です(抜粋)】

#### ★私が気づいたのは…

- ・ワークショップは物づくりだけではなく、気づきを得るためのものもある。
- ・皆で意見を出し合うと、難しいと思っていたワークショップも楽しく出来ると感じた。
- ・他の人とディスカッションする事でどんどんアイデアがふくらんでいく。
- ・子育て世代なので気になる事が似ている。
- ・コンセプトとターゲットをしぼると目標が立てやすい。
- ・まだ目的が見えていなくてもそれぞれ単語を出すだけでもだんだん答えが出てくる。

#### ★私が一番印象に残った言葉は…

- ・OARR を欠くと事がうまく運ばない。
- ・ワークショップは日常に取り込める。
- ・ワークショップを通じて何に気付いてほしいのか、学んでほしいのか、目的はとても大事なことだと思いました。
- ・楽しく当事者になる。

#### ★私にとって必要だと感じたのは

- ・会話を広げていくファシリテーション力。
- ・共感からモチベーションをあげていく。
- ・人に伝わるように話すこと。イメージ力。
- ・周りが何を求めているか感じとる事。
- ・漠然とした行動ではなく、目的・目標・目当てを伴った行動。
- ・子どもと一緒に遊ぶ中にも何かの気づきと、子どもが自然に気付かせられたらいいな。

#### ★私がこれから実行しようと決めたことは…

- ・日常の中でもワークショップのような体験があるはずなので気にかけている事。
- ・OARR を意識してワークショップを開催する事。
- ・今回のワークショップに向けて初めてのことに挑戦してみる。
- ・自分に何が出来るか楽しんで考えていきたい。
- ・皆で話し合ったテーマについて自分なりに考えてみる。
- ・子どもに気付かせるように仕向けていく努力をしていこうと思いました。

#### ★ご意見・ご感想

- ・本日も学びになりました。これまでの振り返りをしてもらえたので復習が出来ました。
- ・実施する事、全体の目的や状態がわかりにくかったです。どの程度の制限と自由があるのか教えてほしいです。
- ・皆さんが楽しめるワークショップになればいいなと思います。